

荻伏小学校の稲刈り体験学習

10月2日（水）、浦河町荻伏小学校の5年生15名が稲刈りを行いました。5月下旬に田植えをした「ななつぼし」は黄金色に色づき、こうべを垂れています。水田の持ち主である島田さんから稲の刈り方やひもを使った束ね方などを指導を受け稲刈り開始です。

「わぁ、刈れたよ!」「あれ、どうやってひもで束ねるんだっけ……?」「うまくいかないなあ」子供達の声が秋空の下、響き渡ります。

みんなで運んで、はさがけした稲を見て、「いつ食べられるのかなあ」「早く食べたいね!」と自分達が手がけたお米を食べるのを今から楽しみにしています。

刈り取り、はさがけの後は「青空パネル展」で日高振興局の職員から暗きょ排水のお話を聞き、模型による実演には感心の声が上がります。稲についての質問の時間も設けられ、「水田にはどのくらいの水が入っているの?」「農薬は何回まくの?」と質問が相次ぎ、普及センターの職員は順番待ちの子供達に囲まれながら答えました。

お天気に恵まれた稲刈り体験学習は子供達の賑やかな声のもと、無事に終了しました。

(執筆者：専門主任 嗟峨奈々子)



さー刈り取るぞ!



刈って、束ねて、運んで



上手にできたよ。



あたしの番はまだかな